

筋肉刺激し誤嚥予防 高周波機器の販売強化

プレジール

エクステアDで筋肉を鍛える男性
ネス前橋



く。同ホームは昨年秋に機器を導入。3人が1日約20分、機器を使って訓練している。

男性は入所時、自分の口で食事ができず、カテーターで栄養を摂取していたが、ペースト状であれば食べられるようになった。男性は「最初は痛かったが、慣れてきた。食べ物も飲み込みやすくなった」と語る。副施設長の青木鈴子さんは「味わう行為自体が元気の源。気持ちも前向きになってきている」と受け止める。

同社はエクステアDiの正規販売店。嚥下障害で寝たきりだった高齢者が食事できるまでに改善した例があることから、病院や日帰り入浴施設などに販売

してきた。

登坂社長は「『自分の口から食べたい』という願いを、この機器でかなえたい」と話している。

誤嚥を予防し、自分の力で食べられる高齢者を増やそうと、「眠り製作所」のブランド名で寝具を開発するプレジール（高崎市中尾町、登坂好正社長）が、

複合高周波EMS「エクステアDi（ディアイ）」の販売を強化している。県内の複数

用拡大を目指す。

前橋市内の特別養護老人ホーム「ルネス前橋」。

導入。効果を検証し、医療や介護分野での利

性の首に装着されたパッドから電気が流れ、

筋肉が刺激されてい

町、登坂好正社長）が、

医療や介護分野での利

筋肉が刺激されてい